



西南学院大学女子同窓会

西南ゆりの会

vol.25

西南学院大学女子同窓会
(西南ゆりの会)会報
2018年4月1日発行
〈発行人〉藤井 千佐子
福岡市早良区西新6-2-92
西南学院同窓会事務局内
☎092-831-7048
shouryokukan@seinan-yurinokai.jp

SEINAN Woman of the Year 2017 に

前田 恵理さん

(77期・商経)

一般社団法人

日本車いすテニス協会会長



P.2~3

SEINAN Woman of the Year 2017 記念式典・祝賀会

P.4~5

OGのひろば

P.10

キャンパスを歩く

3万9000人の女子卒業生が活躍する「今」を紹介します

記念式典・祝賀会 at 西南学院百年館(松緑館)

2017年
10月28日(土)
開催



西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)は発足31年目の2017年、新規事業の一つとして、顕著な活躍をした女子同窓生を顕彰する「SEINAN Woman of the Year」(西南ウーマン)を始めました。西南ウーマン2017に輝いたのは一般社団法人日本車いすテニス協会会長の前田恵理さん(77期、商学部経営学科)でした。10月28日に西南学院百年館で開いた記念式典・祝賀会には約170人が集い、お祝いと交流のひと時を過ごしました。

記念式典で西南ゆりの会から前田さんに西南ウーマン2017の盾と記念品を贈呈。記念講演では前田さんの感動的な話に会場全体が引き込まれるようでした。祝賀会では、同窓生の馬場敬子さん(05期、外英)とお姉さんによる民謡・三味線デュオ「馬場姉妹」の演奏が花を添えました。

● 推薦のことば

藤木 徹雄 氏 (大学同窓会嘉飯桂支部長)

前田恵理さんの本業は実業家ですが、ご多忙な中で飯塚国際車いすテニス大会(Japan Open)会長、及び一般社団法人日本車いすテニス協会会長として、運営と発展に大いに貢献されています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなる活躍をされるものと確信し、推薦いたしました。

profile

前田 恵理 さん
福岡県飯塚市在住



車いすテニスの世界4大会に次ぐスーパーシリーズ大会のひとつ、飯塚国際車いすテニス大会の運営に第1回からかかわってきた。同大会を運営するNPO法人九州車いすテニス協会理事、飯塚国際車いすテニス大会会長を歴任し、延べ2,000名の市民ボランティアによる市民参加型の運営方式を推し進め、世界的にも高く評価されている。2017年5月に一般社団法人日本車いすテニス協会会長に就任、2020年東京パラリンピックに向けて国内外を飛び回る。仕事面では、LPガス販売がメインの会社の3代目としてガス関連事業、新電力、リフォーム、水宅配と大きく発展させた。子育て、車いすテニス大会の運営と多忙を極めながらも「新規事業のことを考えている時が一番ワクワクする」とさらなる発展を目指す。2016年から福岡県教育委員も務める。

「記念講演要旨」 可能性を信じて―諦めない心―

世界の舞台で活躍するアスリートには成りえなかったはずです。もし何もかも失ったとしても、未来だけは残っていることを教えてくれました。

33年間の大会運営では、ピンチに見舞われることもありましたが、様々な方のお力とお知恵を借りながら真摯に取り組むことで、打開することができました。選手が最高のパフォーマンスを出すための環境づくりに励むボランティアの仲間や地元の子どもたちとの出会いも私の原動力となっています。

僕は自分の人生が大好きだと語っていました。病気や事故で生死の淵から多くの困難を乗り越えて、逆境を糧にして生きてきた障害者アスリートそのものが、最後まで諦めない姿の象徴だと思います。挑戦することは、無理をすること、背伸びをすることかもしれません。しかし、彼ら彼女らが自分のできることをだけを選び出していたならば、

今日は、東京パラリンピックまで一〇〇〇日という記念の日で、私にとっては忘れられない一日となりました。西南ウーマン・オブ・ザ・イヤーは、私にとって身に余る荣誉ですが、神様が私にもっと頑張れというメッセージをくださったのだと思って、この荣誉に恥じないように、これからも一生懸命生きていきたいと思っています。

SEINAN Woman of the Year 2017



民謡・三味線デュオ「馬場姉妹」の熱演



テニス部の仲間に囲まれた前田恵理さん
(前列左から4人目)



乾杯の音頭を取ったのは九州大学女子卒業生の会
「松の実会」の海老井悦子会長(左)と福岡大学有信会
レディースクラブの内田祐子副会長



西南ウーマン2017の盾(左)と記念の花器



笑顔で集う参加者



藤井千佐子 西南ゆりの会会長の挨拶

本日は、このように大勢の方にお集まりいただき、本当にありがとうございます。西南ウーマン事業を通して、多くの女子同窓生がさまざまなフィールドで活躍していることを知ることができました。シャフナー学長、岩崎文正大学同窓会会長を含めた選考委員会で慎重に審査した結果、前田恵理さんを選出いたしました。女子同窓生の活躍を象徴するような前田さんを選ぶことができて本当に嬉しく思っています。皆様方のご支援や協力を賜りながら、この事業を毎年続けていきたいと願っています。



K・J・シャフナー学長の祝辞

前田恵理さん、おめでとうございます。西南の卒業生らしい愛の精神に満ちて、山や谷、様々な場所へ、たくましく清らかに咲くゆりの花のような前田さんのご活躍は、3万8千人の女子卒業生の、鑑であり、励みです。西南ゆりの会のキャリア支援の行事や各地の同窓会での交流、各種の報道などを通じて、多くの女子卒業生の活躍を知り、とても嬉しく頼もしく感じています。前田さんの今後ますますのご活躍と、同窓生の皆様お一人一人のご活躍を心からお祈りいたします。



第34回 飯塚国際車いすテニス大会 Japan Open 2018

2018年5月14日(月)
～5月19日(土)

福岡県飯塚市仁保筑豊ハイツテニス
コート・県営緑地テニスコートにて

【問い合わせ先】

特定非営利法人 九州車いすテニス協会
<http://kwta.japanopen-tennis.com>
飯塚国際車いすテニス大会 事務局
TEL:0948-25-7144



舞台上で琵琶を演奏する尾方さん(右)

おがた じゅんこ (ちょうか)

尾方 淳子 (蝶嘉) さん

(00期・法法) 福岡市

嶺南流筑前琵琶保存会 師範

日本琵琶楽協会会員

ホームページ

<http://biwa-cyouka.jimdo.com/>

筑前琵琶を未来へつなぐ

私と「筑前琵琶」との出合いは13歳のころ。初めて聴いた時の、音色と語りの声から感じた幽玄かつ凛とした空気は今でも忘れられません。演奏活動は文化施設、ホール、教育機関、寺社仏閣、文化講座などで行っています。最近では、異分野のアーティストとのコラボレーションなど多様な機会をいただき、琵琶曲の作詞作曲、地域の物語の掘り起こし、弟子の育成など、福岡発祥の筑前琵琶を未来へ繋げていけるよう活動しています。

29歳の時、演奏でスコットランドへ行く機会があり、そこで出会った現地の高校生が自国の歴史や政治、民族のルーツについて堂々と語るのを聞き、私は日本の伝統楽器奏者として、日本人が国際社会で活躍するにはまずは足元、文化を中心とした自国のことを知ることがとても大切であると気づきました。そしてその礎があれば自信をもって世界に伍していくことができると確信しています。

各分野で活躍中のOGに大学時代の思い出や
現在の仕事、活動などをうかがいました



なわ た ようこ

名和田 陽子 さん

(2007年3月・法科大学院修了) 佐賀市

佐賀中央法律事務所 弁護士

ホームページ

<http://sagachuo.jp>

弁護士として幅広く活動

大学在学中に司法試験を志し、法科大学院制度が開始した2004年4月に西南学院大学法科大学院に入学しました。西南学院高校出身だったので慣れ親しんだ場所での勉強をということが入学の理由のひとつにありましたが、高校生活を過ごした校舎がチャペル以外なくなってしまったのは寂しさも感じました。

司法試験合格後の司法修習で佐賀に配属され、その後佐賀で弁護士登録をし、もうすぐ10年目に入ります。刑事事件から民事事件、家事事件まで幅広く活動しています。佐賀県は女性弁護士が少ないこともあり、離婚などの家族の問題に関わる事が多く、悩んだ末に法律事務所の戸を叩いた相談者から「弁護士ということで緊張していたけれど相談しやすかった」「安心しました」とのお言葉を頂くことが励みになります。最近では、小中高校でいじめ防止授業や刑事模擬裁判等を行う法教育の分野に力を入れており、各学校で出前授業をしています。



7人制ラグビーロシア女子チームのオリンピック事前キャンプ(宗像市)が決まった調印式
(2017年12月、後列右から2人目が重松さん)



しげまつ のりこ

重松 典子 さん

(81期・児教) 福岡市

福岡県人づくり・県民生活部長

公務員はやりがいあり！来たれ後輩

福岡県庁で4人目となる女性部長に昨年4月に就任。社会活動や文化・スポーツ・私学振興、男女共同参画、生活安全、青少年育成など県政の重要課題のかじ取りを任されています。東京2020オリンピック・パラリンピックでの事前キャンプ地誘致なども担当です。世界のアスリートに間近にすることで多くの県民が力をもらえると信じています。

県庁職員を目指したきっかけは、学生時代に重度心身障害者施設で見た訓練風景でした。さまざまな困難を抱えながらも懸命に励む姿を見て「障害や性別にかかわらず」という多様性を学んだことが大きく、大学の4年間は私自身の基礎をつくったのだと思います。県職員としてこれまで広報や地域政策、高齢者福祉、商工など多岐にわたる行政課題に取り組んできました。公務員の仕事は幅が広くとてもやりがいがあります。ぜひとも多くの後輩に目指してほしいと願っています。



趣味のサーフィン



にし まり

西 麻里 さん

(88期・外英) 米国

Well-Being Navigation

ホームページ kaimana.us

ウエルビーイング

夫の仕事の関係で米国に約25年前に移住後、アパレル会社で主に市場開拓の業務に関わってきました。一方でもっと社会に貢献したい、社会貢献が実感出来る何かをやりたいと思ってきました。

そんな時、チョプラセンター(本部サンディエゴ)の活動と出会い、ウエルビーイング(Well-being=身体的、精神的、社会的に良好な状態であること)の指導者の資格を取得しました。同センターは、西洋医学とヨガ、アーユルヴェーダ、瞑想を統合した様々なプログラムを持ち、人々を心身ともに健康な状態に導きます。米国では病院やグーグル、ナイキなどの企業で瞑想を取り入れている所があります。

現在、勤務先のアパレル会社で、新たな心身のトレーニングプログラムを準備中です。参加者にはストレスに対するセルフケアの手法を学んでもらい、幸福感や他者への思いやりといった「心」の自己育成が出来るように指導します。各人が自分の可能性を最大限に発揮出来るような内面の環境づくりを目標にしています。



東南アジアの孤児院で子ども達と工作



かじつか ひろみ
梶塚 洋美 さん
(88期・国際) 福岡市

株式会社キャンパスサポート西南 取締役
ホームページ
<http://www.cs-seinan.co.jp>

西南とともに歩んでいきたい

損害保険関連会社の社員として社会人となり、主に傷害・疾病保険の査定業務を担当しました。損保で18年勤務した後、「神様のお導き」で、株式会社キャンパスサポート 西南という、西南学院が100%出資した事業会社の創立時に西南に戻り、11年余です。最初は社長以下4人でのスタートでしたが、現在はフルタイム社員80人以上となりました。プライベートでは、2017年夏、東南アジアの孤児院、幼稚園を訪問しました。日本の教会の子ども達がお小遣いから献金しています。奉仕と同時に献金先を視察し、子ども達に報告することが目的でした。訪問先では「少額の献金でも、少人数でも、継続的に来て関わって欲しい」と言われました。いつか日本から子ども達を連れて行けたらと思います。キリスト教やゼミで学んだ日本文学、4年間西南で学んだことがこれまでの私の人生にはとても貴重なものでした。これからも日々すべきことは精一杯やりながら、西南とともに歩んでいけたらと思います。



剣道大会での家族写真(後列左が永野さん)



アルプスの麓の村アヌシーの美しい風景

ながの かよこ
永野 加代子 さん
(92期・外仏) フランス

日本語教師
ゲストルーム「れ・さぱん」経営
ホームページ
<https://sites.google.com/site/gstfrol/home>

フランスで日本語指導

大学の交換留学で知り合ったフランス人の夫と結婚した後、フランス南東部のスイスとの国境の町・アヌシーに近い片田舎にやってきたのは2004年のことでした。ここでフランス人のために日本語を教える仕事を始め、今では小・中学校でも指導しています。夏には、日本人を対象にしたゲストルーム(宿泊施設)を経営し、観光案内の仕事にも取り組んでいます。学生時代から続いていた剣道は週数回、近所の体育館で地元の人たちと一緒に汗を流しています。こちらは家族全員です。学生時代に始めたことを卒業から四半世紀を過ぎようとする今でも続けていることに幸せを感じています。この恵まれた環境の中で私が得たものを、周りの人たちにどのように還元できるのがこれからの課題だと思っています。



イタリア、カリアリ大学での学会発表

とりごえ ちえ
鳥越 千絵 さん
(03期・外英) ドイツ

西南学院大学文学部外国語学科准教授
ドイツ在外研究中

母校で働くことのできる喜び

高校、大学、大学院の修士課程まで在籍した西南学院に、2009年言語教育センター助教として戻ってきました。2011年からは文学部外国語学科英語専攻の教員として英語とコミュニケーション学関連の授業を中心に担当しています。自分の授業を受講している学生たちが後輩だと思うと仕事にも力が入りますし、学生時代にお世話になった先生方と一緒に仕事ができるというのは幸せなことだと感じています。

2017年4月からは1年間海外で研究活動を行うことができる在外研究の機会を得て、現在は南ドイツにあるバンベルクという小さな町に滞在中です。バンベルク大学付属の研究機関に客員研究員としてお世話になり、日本ではなかなか手に入らない資料を研究所や大学図書館で読み漁る毎日です。これまでは参加することが難しかったヨーロッパの学会にも積極的に参加することができ、充実した研究生活を送っています。

OGのひろば



ママワークスクールで仕事と子育ての両立をアドバイス



なかやま じゅんこ
中山 淳子 さん
(90期・国際) 福岡市

NPO法人ママワーク研究所 理事
ホームページ

<http://www.mamawork.net>

NPOで育児期女性を支援

大手幼児教育会社に20年勤務してようやく授かった待望の我が子。定年まで働く思いを持っていましたがいざ自分が母になり、仕事と子育ての両立の困難さを痛感しました。「ママ友」たちの大半が子育てを理由にキャリアをリタイアしている様子を実際に見聞きし、この女性たちの社会へのキャリアバックのお手伝いをしていけたらと、同じ志を持つ知人と6年前にNPO法人ママワーク研究所を福岡市内で設立しました。一度リタイアした育児期女性たちが社会に再度一歩踏み出すための「ママワークスクール」を企画、運営しています。

自信をつけた女性たちと企業との「お見合い」の場である「ミートアップ」や「ママドラフト会議」を企画するなど、これからも育児期の女性が「自分らしく」社会復帰できる伴走をしていきたいと思っています。

女子大学生のためのキャリア支援講座

2017年5月29日 西南学院百年館

西南ゆりの会と大学キャリアセンター就職課の共催で、キャリア形成支援プログラム「なりたいたい女性、やりたいたい仕事」を開催。約80人の学生が参加しました。

パネリストは、岡村久美さん(01期・外仏 R K K 熊本放送ラジオ制作部ディレクター)、杉町由起子さん(08期・社福西日本鉄道都市開発事業本部係長)、古賀沙織さん(13期・児教カルビー中日本事業本部)の3人です。

第一部では、働く先輩として仕事のやりがいや面白さについてエピソードを交えた話、家事や子育てとの両立に関する体験談の紹介、さらに、学生時代にやってよかったこと、やっておけばよかったこと、社会人になる前に身に付けておいてほしいことについても貴重なアドバイスがありました。

第二部では、パネリストと参加した学生がグループに分かれて座談会を行いました。和やかな雰囲気の中、学生たちは社会で活躍している先輩の生の声を聞きながら、質問を投げかけていました。

終了後、参加者からは「企業説明会などでは聞けないような働く女性の生の声を聞くことができて、就職活動の参考になりました」「文学部4年・女子」、「今日のお話を聞いて、勉強のやる気が出ました」「人間科学部3年・女子」、「仕事と家庭の両立の話を聞いて、将来、もし妻ができたならサポートを頑張ろうと思いました」「商学部2年・男子」などの感想が寄せられました。



さようならハンキンス先生

2017年12月6日 西鉄グランドホテル

西南ゆりの会の12月定例理事会に合わせてクリスマス会を企画し、2018年春に西南学院宗教主事を退職されるリディア・ハンキンス先生にミニ講話をお願いしました。米国南部出身のハンキンス先生は1998年に学内牧師として着任。リディアにちなんで「里出亜」という漢字のハンコを持つているなどのエピソードも披露されました。お話を通して、キリスト教信仰に裏打ちされた価値観、愛、理念、勇気によって女性として、クリスチャンとして自立して強く生きてこられたことがうかがえました。

講話の中でハンキンス先生は私たちに三つのメッセージを贈られました。まず「正直で本物であること」。家庭でも職場でも周囲の評価を意識していい子になるのではなく正直でいること、そして相手を大事にすること。キリスト教では自立して自分で考えます、と強調されました。

二つ目は「人生に無駄な経験はない」ということ。日々の暮らしの中で望ましくない経験をすることもある。その時は、どのようにしたら強くなれるかを考えることですと指摘。三つ目は「時間が与えられていることに感謝」でした。週に一日は仕事をしない日をつくって自分のことを整理する時間を持つことが大事ですと、ご自分の体験を踏まえてアドバイスされました。



退職後は日本を離れ、これまで支えてくれた夫を今度は自分がサポートして新たなチャレンジをするというハンキンス先生の第二の人生がますます充実したものにようになります。

ハンキンス先生、長い間、温かいご指導ありがとうございました。



西南ゆりの会定例理事会

毎月第2水曜日18時半、西南学院百年館 (日時、場所は変更あり)

西南ゆりの会では、会の方針や運営や実施する事業のすべてを、理事会で企画し、決定しています。そのため毎月の理事会では活発な議論を繰り広げています。理事会のもとに事業、広報、総務企画の3部会があり、理事会で決まったことを、具体的に実行に移したり、

逆に新たなテーマを理事会に提案したりすることもあります。私たちの主なミッションは、一人でも多くの女子同窓生との交流・連携を深めること、さらには持続的に母校に貢献していくこと、だと考えています。理事一同、2018年度もますますパワーアップして西南ゆりの会を盛り上げていきます。



2018年2月定例理事会の様子



理事有志によるハンドベル演奏(きよしこの夜)

女子同窓生活動支援事業

留学生と楽しむ「一期一会」のお茶会

女子同窓生有志・茶道部学生有志

代表 中野久恵(75期・外仏)

本学の留学生にお茶会を楽しんでいただきたいと、女子同窓生と現役の茶道部学生が有志で企画しました。会場は学内、西南コミュニティーセンターの茶室。自分の好きな着物を着付けてもらった20人の留学生が、茶道部の学生に作法を習い、お抹茶とお菓子の和やかな時間を楽しみました。同時企画として、言語教育センターや学術研究所附置談話室で、一般の学生や教職員の方々に呈茶をして総勢180人の方々にご参加いただきました。

日本の伝統文化を体験できるこの企画を皆様に喜んでいただけたことに感謝しています(2017年10月4日)。



「子どもの非行」を考える講座

NPO法人ゆい 代表 高木美穂子

(80期・児教、16期大学院人間科学研究科)

子育てする親と子どもが安心して穏やかに過ごせる居場所を作り、地域の中で多世代が心豊かに支え合って集える、そんな新しいコミュニティ活動を行うNPO法人ゆいが主催する全3回講座「子どもを取り巻く“いま”を考える」の2回目として開催しました。複雑な現代社会の中で、様々な悩みを抱えた親子が増加しており、虐待・ネグレクト等の問題が深刻になっています。専門家の話から、現状を知り、どうやって支え合っていけばいいのかをみんなで考えました。

講座では、非行の子どもを持ち、鑑別所や少年院の経験をしながら長い葛藤の日々を送った講師をお迎えし、「子どもの非行」について経験談を含めた講話を聞き、学びを深めました。このような問題に関心を持つ本学の学生や教員も参加し相互交流を持つこともでき、有意義な時間になりました(2017年10月8日)。

原千晶さん講演会「2度のがんを経験して気づいたこと」

NPO法人ウィッグリング・ジャパン 代表 上田あい子(97期・商経)

NPO法人ウィッグリング・ジャパンは女性がん患者にウィッグをレンタルすることで治療中の外見のケア、心のケアに注力しています。この度、女優の原千晶さんをお迎えして、2度の婦人科がん闘病の経験談、人とのつながりの有難さ、がん検診の重要性、不調との付き合い方、自分らしい生き方などのお話しをしていただきました。

参加者からは、闘病中の悩みやお仕事のパワーの源、夢は何ですか? など質問が出て、原千晶さんの考え方や捉え方を披露してもらいました。まさに自分らしく生きるためのアドバイスをもらえる時間となりました。芸能人のがん闘病の話題も増えてきました。病気を完全に防ぐことはできませんが、病気になったとき、少しでも不安や負担を軽減できる社会創りを目指していきたいと考えます(2018年1月20日)。



「シニアの品格」講演会

Fukuokaオトナ塾 代表 伴克子(84期・児教)

「シニアの品格」の著者小屋一雄さんをお迎えしての講演会を行いました。「本物の自分になるために、人生の分岐点で迷ったとき、あなたらしい選択をするための5つのヒント」というテーマで、人間の強さと弱さ、そもそも「品格」とは何なのか、自分らしい道を選ぶためのヒントを、熱くお話ししてもらいました。

「強み」の心理学をビジネス界で長年実践してきた著者から心理学の手法を用いた具体的なアドバイスもあり、30代~70代の幅広い年齢層の参加者にとって、これからの自分の人生をどう生きるかについて考える良い機会になったと思います(2017年6月16、17日)。

インドネシア・カルチャー・ディ2017
～インドネシア影絵遊びをしよう～

NPO法人トゥマンハティふくおか

代表理事 弥栄睦子(84期・国際)

福岡市民へのインドネシア理解促進、国際社会にふさわしい人材育成、インドネシアの子どもへの教育支援を目的に企画したイベントです。大阪を拠点として全国的に活躍するワヤン&ガムランユニット「HANA☆JOSS」を迎えて、博多区祇園町のぼんプラザホールで開催しました。

昼は親子を対象に、日本語によるWayang kulit(ワヤン・クリ)影絵教室、夕方からは日本語によるWayang kulitを上演しました。

多くの方々に楽しくインドネシアの伝統文化に触れてもらう機会になりました。収益金はインドネシアの貧しい子ども達への奨学金や学校等の施設整備の資金として使われます(2017年11月5日)。



※Wayang kulit=水牛の皮で作った人形による影絵芝居(インドネシアの伝統芸能、ユネスコ無形文化遺産)

サラムッポ会

西南ゆりの会は1993年から、フィリピンの貧しい大学生に奨学金を送る「サラムッポ会」の活動に参加しました(会は2015年春で終了)。この活動を通して私たちは20余年の間に6人の女子学生を支援しました。最後の奨学生となったジュディ・アンさんから手紙が届きました。ボラカン州立大学で土木工学を専攻し2017年春に卒業した彼女の手紙には感謝と卒業の喜びがつづられていました。

親愛なる西南ゆりの会のみなさまへ

この手紙で、すべてが私にとってどんなに素晴らしいものであるか私の胸の内を完全に説明できる内容をずっと考えてきました。けれども、まだそれを表現できる言葉を見つけることができていないのです。数週間後、私は学位授与式に向かう予定になっていますが、私にはそれが信じられません。正直に言えば、私がここまで到達することが出来るとは思ってもみませんでした。在学中、学業を辞める事が正しい決断ではないかと何度もためらう時がありました。しかし、思い起こせば、私が学業を諦めるかどうかで迷っている時はいつも、神が私は一人ではないという事を知らしめてくれました。神は常に私と共に在りました。これはお別れ、つまり終わりではなく、私と私達のための新たな始まりなのです。

arigatogozaimasu!

ジュディ・アン



クリスマスやイースターなどの折々にジュディ・アンさんから西南ゆりの会の送られてきた多数の手紙。工夫を凝らした手作りの手紙には学べる喜びがあふれていました。

西南ゆりの会 理事・評議員名簿

(任期は2019年6月まで)

2017年6月9日、ホテル日航福岡で開催した第32回西南学院大学女子同窓会総会で、役員改選などが承認されました。2016年の西南ゆりの会発足30周年を受けた2017年度、西南ゆりの会の新たな飛躍を目指す取り組みとしてSEINAN Woman of the Year(2,3ページ参照)や女子同窓生活動支援事業(7ページ参照)を始めました。地域理事も含めて約50人の役員が中心となって推進していきます。

会長 藤井千佐子

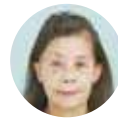
会長	藤井 千佐子 (73期・外仏)	理事	荒武 勢津子 (78期・外英)	地域理事		
			後藤 純子 (80期・外英)	大阪	佐伯 道 (63期・文英)	
副会長	松永 恵子 (72期・児教)		吉住 章子 (82期・国際)	北九州	塩田 英子 (78期・商商)	
	日高 恵美子 (82期・法法)		伴 克子 (84期・児教)	福岡糸島	久保 友季 (78期・文英)	
	塚田 恵美子 (90期・国際)		山田 啓子 (85期・児教)	熊本	古崎 喜代子 (79期・商経)	
理事	内海 昌子 (56期・児教)		城崎 由紀子 (87期・文英)	福岡大川	野中 美保子 (79期・法法)	
	安西 忍 (64期・文英)		梶塚 洋美 (88期・国際)	東京	山本 美香 (92期・法法)	
	矢野 多美恵 (68期・文英)		吉川 恵 (88期・国際)	福岡直方	植村 恵美 (94期・商経)	
	高山 和代 (68期・児教)		沖崎 きみ (91期・経経)	宮崎	知覧 由美子 (81期・経経)	
	河内 光子 (69期・文英)		徳永 敬子 (91期・法法)	大分	海原 みどり (84期・国際)	
	中野 和子 (70期・外英)		永嶋 恵美 (91期・外英)	監事	中里 利子 (71期・文英)	
	土井 光子 (72期・文英)		入江 恵美 (91期・法法)		井上 暁子 (83期・商商)	
	水城 啓子 (74期・法法)		植村 康子 (92期・国際)	評議員	吉田 扶久子 (68期・商商)	
	桑野 綾子 (75期・外仏)		鈴木 牧子 (92期・文英)		井原 絹江 (73期・法法)	
	野副 信子 (75期・文英)		波多江 愛子 (93期・法法)		納富 昌子 (76期・外英)	
	白水 心子 (76期・商商)		三浦 由加里 (95期・経国)		武末 祐子 (77期・外仏)	
	新井 由美子 (77期・外仏)		上田 あい子 (97期・商経)		古賀 敦子 (80期・外英)	
	簗原 千香子 (77期・法法)		唐原 久美子 (07期・国際)			

地域理事紹介

西南ゆりの会は2017年の規約改正で、地域理事を新設しました。女子同窓会の活動をさらに広げていくためです。現在9人の地域理事を20人程度まで増やしていきたいと考えています。



「東京」 山本美香（92期・法法）
私の職業は税理士です。中小企業及び個人事業者の経営上の相談、経理指導、税務申告が主な仕事です。また、相続税も得意分野としており多数の申告を行っております。東京支部同窓会は女性の参加者も大変多く、華やかな西南らしい会となっております。女性理事の数も年々増え、今後ますます女子パワーで同窓会を盛り上げていく予定です！



「大阪」 佐伯道（63期・文英）
大学同窓会関西支部の女性会員数は200人超を数え、支部総会への女性参加者は常時20～30人です。女性たちは、隠れた名所めぐりを楽しむ「良か女（おんな）の会」、ゴルフ、ハイキング、ゴルフなどの支部イベントに積極的に参加し、信頼を深めています。



「熊本」 古崎喜代子（79期・商経）
西南学院大学で同期の夫と結婚。夫の企業である建設業に従事しています。西南学院同窓会熊本県支部の事務局を担当して20年以上になります。毎年開催する熊本県支部総会も最近では元気な若い女性の出席が増えてきました。今後は少数でもいいので、女子会を始めたいと考えています。



「大分」 海原みどり（84期・国際）
（株）大分放送にアナウンサーとして入社して30数年。テレビやラジオの番組を通して、多くの方にインタビュー出来ることに喜びを感じる日々を送っています。「OBSアナウンサーセミナー」では、〈言葉の力〉を力説しています。



「宮崎」 知覧由美子（81期・経経）
今までに、2500件のお葬儀に携わり、産業カウンセラー、グリーフケアアドバイザー、遺品整理士の資格を取りました。



業務の合間に講演活動や子どもの心のケア、また子ども食堂の運営にかかわっております。

「北九州」 塩田英子（78期・商商）
自宅で創作料理の店をやっております。趣味で集めて来た骨董、作家物の器に盛り付け、季節を大事にと心掛けています。手のひらサイズの小品盆栽も楽しんでおり、高齢の紳士達に混じって、挿し芽、種取りと一年中、土いじりしています。



「福岡直方」 植村恵美（94期・商経）
最近では学生時代の同級生から「子どもが西南学院大学に進学した」という話を聞くこともあります。先輩として、また保護者目線で、後輩たちのこれからを応援できたらうれしいですね。昨年11月、大学同窓会直轄支部の副支部長というミッションをいただきました。そちらも含めてよろしく願います。



「福岡糸島」 久保友季（78期・文英）
中学校教師として約35年間勤務、退職後モイステイヌのアドバイザーとして健康な素肌を目指す女性のサポートをしています。その傍ら、民生委員として地域の見守り活動を行っています。糸島と西南をつなぐ架け橋として微力ながらお役にたてれば、と願っています。



「福岡大川」 野中美保子（79期・法法）
大川市役所に30数年勤務し、子ども未来課長補佐を最後に退職。今は大川市や地元の大木町で子育て支援のボランティア活動などをしていきます。地方は今、少子高齢化によりきびしい状態ですが、人と人が繋がっていくことで、少しでも住みやすい街に出来たらと思っています。同窓会活動も同じで、同窓生が繋がっていくお手伝いができたらと思っています。

大学同窓会支部総会で出会った女子同窓生





～ 西南子どもプラザ周辺 ～



案内人

西南子どもプラザ 専門スタッフ

世戸口 洋子さん

(85期・児教)

① 西南子どもプラザ



豆まきを楽しむ親子（鬼役は学生ボランティア）

図書館、西南クロスプラザそばに

西南子どもプラザは、脇山口から百道浜に抜ける「サザエさん通り」に面し、修猷館高校の道向かいにあります。私と同年代の人は「フレンドシップハウス」があった場所といえお分かりになるでしょう。すぐ北には西南クロスプラザ（学生食堂）、斜向かいには2017年4月に開館した7階建ての図書館が見えます。

10周年迎えた西南子どもプラザ

「子どもプラザ」は、福岡市が各区に設置する子育て支援施設で、未就学児と保護者が無料で過ごせる遊び場です。

「西南子どもプラザ」は、西南学院大学が福岡市と提携して2007年に開設。大学の知的資源を生かした支援が特徴で、本学の先生や退職された先生方が子どもと触れ合ったり、保護者の相談に応じたりしています。学生たちが授業やボランティアで訪れる学びの場、さらに地域の方々が親子の見守りなどのサポートして関わる地域と大学をつなぐ場でもあります。2017年7月に開設10周年を迎え、この間に30万人を超える親子に利用していただきました。

目には見えないけれど大切なもの

地域に根を張り、子育て支援の核となる施設として定着している西南子どもプラザ。ここで子どもに関わる仕事をしていると、大学での学びが私の根底に流れているのを感じます。それは「目には見えないけれど、大切なもの」があるということです。大学が地域の親子の大きな支えになり、ここで「大切なこと」を伝える仕事をしていることに感謝します。

風景は変わってしまいましたが、大学が育んできたものは変わらず、西南子どもプラザもその一つのように思います。皆さんもお子さんやお孫さんを連れて遊びにいらっしやいませんか。きっと「西南」らしさを肌で感じていただけることでしょう。

西南子どもプラザホームページ

http://www.seinan-gu.ac.jp/community_connect/public_place/childrenplaza/



西南学院大学
キャンパスMAP

② 図書館

(2018年1月、福岡県美しいまちづくり建築賞決定)

卒業しても利用できます

①卒業証明書又は卒業証書（呈示のみ）。

※卒業証明書は、教務課（2号館2階）で発行しています。

②写真（3.0×2.4cm 1枚）

③手数料（200円 継続更新毎に200円 6か月毎の更新）

④印鑑

を揃えて、図書館1階カウンターで手続きをしてください。入館証が発行されます。

●8時半～22時まで開いているので会社帰りでもご利用可能です。※開館時間は変則で、8時半～22時は授業期間中の平日のみ。詳細は図書館HPを参照。

●図書館1階のカフェで入館証を見せると、飲み物に限り100円引きとなります。

詳しくは <https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/>

西南学院大学図書館 閲覧係

TEL:092-823-3404



photo:harigane yousuke



③ 西南学院百年館（松緑館）

ミニ同窓会やサークルの集まりにご利用できます

[問い合わせ・お申込み]

西南学院史資料センター事務局

TEL:092-823-3182 Email:100nen@seinan-gu.ac.jp



2016 年度 事業報告

(2016年4月1日～2017年3月31日)

1 西南学院創立100周年記念式典・合同同窓会総会

日 時:2016年5月14日(土)
会 場:マリンメッセ福岡

2 キャリア形成支援プログラム

日 時:2016年5月30日(月)
会 場:西南クロスプラザ2階

3 西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)総会

日 時:2016年6月10日(金)
会 場:ホテル日航福岡

4 西南学院大学女子同窓会発足30周年記念事業 記念式典・祝賀会・エッセーの入賞者の表彰

日 時:2016年10月29日(土)
会 場:西南学院百年館(松緑館)

5 大学図書館(2017年4月開館) ステンドグラスを寄贈

6 学院創立記念募金として10万円を寄付

7 西南学院大学女子同窓会会報(24号)

2017年4月1日発行

8 ゆり花壇整備(2016年8月31日で終了)

9 支部総会などに出席

大学同窓会支部総会などに参加

鹿児島県支部、嘉飯桂支部、佐世保支部、東京支部、大分支部、関西支部、久留米支部、柳川・大川・みやま支部、熊本県支部、朝倉支部、糸島支部、宮崎支部、佐賀支部、広島県支部、北九州支部、福岡市役所翠会、税理士西南会。このほか九州大学女子卒業生の会「松の実会」、福岡大学同窓会有信会に出席しました。

2016 年度 決算報告

(2016年4月1日～2017年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減	備 考
繰 越 金	615,672	615,672	0	前年度よりの繰越
同窓会助成金	3,000,000	3,000,000	0	大学同窓会よりの助成金
会 費 収 入	360,000	636,000	276,000	式典会費、御祝金
雑 収 入	250,000	400,013	150,013	会報広告代及び HP/パナー広告代等
収入の部合計	4,225,672	4,651,685	426,013	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減	備 考
事 業 費	1,700,000	2,061,505	361,505	発足30周年記念事業費
講 演 会 費	200,000	150,180	△49,820	キャリア支援事業費
広 報 活 動 費	400,000	607,206	207,206	地域支部総会出席旅費等
会 議 費	400,000	311,046	△88,954	理事会開催費用一部負担
印 刷 費	1,200,000	1,039,170	△160,830	会報印刷費・デザイン費 封筒・名刺作成費
広 報 費	120,000	171,000	51,000	ホームページ関連費
通 信 費	30,000	246	△29,754	案内状送付費
慶 弔 費	70,000	62,800	△7,200	他大学イベント参加費
備 品 費	100,000	192,972	92,972	パソコン購入費等
雑 費	5,672	27,429	21,757	振込手数料、事務用品
支出の部合計	4,225,672	4,623,554	397,882	
繰 越 金	0	28,131	28,131	2017年度会計への繰越金
合 計	4,225,672	4,651,685	426,013	



「河野基金」が2017年度で終了

ゆり花壇整備、図書館のステンドグラスなどに
河野勤さん、ありがとうございました。

西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)が運営してきた「河野基金」は2017年度をもって終了しました。同基金は、本学出身の河野勤さん(1932年、旧制高等学校商科卒)が、西南ゆりの会を応援したいと1986年の会発足時から数回にわたって寄付していただいた計400万円が原資となっています。会では、大学博物館前のゆり花壇整備や大学図書館の入口2カ所にステンドグラスを寄贈するなど、有意義に使わせていただきました。3万9000人の女子同窓生の総意として河野さんに深く感謝を申し上げます。

河野さんは長年、米国・カリフォルニア州などの日本人学校で校長を務める一方、西南からの留学生や在外研究の先生方のお世話をされるなど母校愛にあふれた方でした。1999年の西南学院大学開学40周年式典で、大学から河野さんに感謝状が贈呈されました。

西南ゆりの会発足直後は毎年のように福岡に里帰りされ、メンバーと懇談の場を持つなど交流が続きました。1998年には女子同窓生4人がサンノゼに住む河野さんを表敬訪問したことも懐かしい思い出として語り継いでいます。



河野勤さんを囲んで(1990年12月)

2018年の主な催し

● SEINAN Woman of the Year 2018

西南学院大学女子卒業生の社会における活躍を支援するとともに、女子同窓会の認知度を高めるため、顕著な業績を上げた人物を毎年選出し、顕彰するアワードです。春から夏にかけて選考を進め、7月に受賞者を決定いたします。皆さんからのご推薦をお待ちしています。詳細は、本誌2～3ページ及び下記の西南ゆりの会ホームページをご覧ください。2018年4月1日に募集を開始します。



リアルタイム 更新中!

● 西南ゆりの会ホームページ

<http://www.seinan-yurinkai.jp>

イベントのお知らせや各支部総会の模様、活動報告などの詳細を掲載しています。女子同窓生活動支援事業の申請書、会報のバックナンバーもダウンロードできます。

● キャリア支援事業

西南ゆりの会は西南学院大学キャリアセンターとの共催行事として、全学年を対象とした卒業生による就職講座を行います。

2018年5月28日(月)16:30～18:10 西南学院百年館(松緑館)

● ホームカミングデー

西南学院大学は2018年9月29日(土)、卒業生をキャンパスに迎え、交流・親睦を深めてもらうホームカミングデーを開催します。今年の対象は、58期、68期、78期、88期、08期の皆さんです。

[問い合わせ先] 西南学院大学広報課

TEL:092-823-3248 Email:koho@seinan-gu.ac.jp

「西南ゆりの会」で検索!

● Facebookページ

<https://www.facebook.com/yurinkai.seinan>

「いいね!」で更新情報を随時チェック可能! 最新情報をぜひご覧ください。



【西南ゆりの会 理事常駐のお知らせ】

西南学院同窓会事務局に西南ゆりの会の理事が常駐しています。

《火・水・木曜日》13:00～16:00

Email:shouryokukan@seinan-yurinkai.jp

住所変更など、ご用の際はお立ち寄りください。

同窓会事務局

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号 西南学院百年館(松緑館) 1階

TEL:092-831-7048 FAX:092-831-7064

編集後記

1986年3月に発足した西南ゆりの会は、30周年を機にさらなる飛躍を目指して様々な取り組みを始めています。2017年度にスタートさせたのが、二つの事業「SEINAN Woman of the Year」(西南ウーマン)と、「女子同窓生活動支援事業」で、様々なフィールドで活躍する西南OGを顕彰し支援する仕組みです。「旧友を西南ウーマンに推薦したい」「私の地域活動も支援の申請をしたい」「会報の『OGのひろば』に取り上げてほしいOGがいる」などの情報をお待ちしています。(副会長 塚田 恵美子 90期・国際)



西南学院大学同窓生を応援しています

(株)キャンパスサポート西南は、学校法人西南学院全額出資の収益事業法人です。当社の社員の9割以上は西南学院出身のOB・OGです。

西南OB・OGの転職・再就職・人材派遣をサポートします



就活応援

キャンパスサポート西南は、人材派遣・職業紹介所として13年目を迎えました。皆さまからの相談を随時受付しています。お気軽にお問い合わせください。

- ・一般労働者派遣事業許可番号 派40-300238
- ・有料職業紹介事業許可番号 40-ユ-300198

スタッフ全員が英語と日本語のバイリンガルです。翻訳やナレーション、語学研修プログラムの企画・運営など、きめ細やかな語学関連サービスなら弊社にお任せください!



お申し込み・お問合せはこちら

TEL 092-823-3576 FAX 092-823-3590



学校法人 西南学院グループ

株式会社 キャンパスサポート西南

〒814-0006 福岡市早良区百道1丁目14-29

URL <http://www.cs-seinan.co.jp> キャンパスサポート西南

検索